

第2期北広島市まち・ひと・しごと創生
総合戦略の策定に係る
パブリックコメントの結果について

令和3年(2021年)2月
企画財政部 企画課

- 1 意見募集期間 令和3年1月4日（月）から2月2日（火）まで
- 2 担当部署 企画財政部 企画課 011-372-3311(内線 3609)
- 3 意見提出者数 3人(意見提出件数 3件、全て計画案に付随した要望等)

意見	1 理想的な総合的将来像の構築について
提出のあった意見全文	<p>北広島市（まち）～沈滞ムード 活気なし （ひと）～右も左も老人ばかり （しごと）～まともな仕事がない</p> <p>北広島市とは、相変わらずの札幌市のベッドタウン、見渡せば老人ばかり、若者の働く場所が極端に不足、満足な娯楽施設もない、とりわけ飲食や遊興施設がまるで無し、市とは名ばかりの田舎町以下である。変なまちである。</p> <p>以上が他市町から来るよそ者の北広島市に対する平均的なイメージである。若い世代が寄り付かないことが納得できる無い無いづくしのまちである。</p> <p>私も同感である。</p> <p>以上が北広島市の実態だとすれば、この現状を打破するために何をなすべきかを提言したい。</p> <p style="text-align: center;">まち・ひと・しごとの理想的な総合的将来像の構築のために</p> <p>北広島市は、安心安全なまちを市のイメージ戦略としているが、これは、高齢化が進んだまちの自然発生的な現象に過ぎないと考えられる。</p> <p>反面、安全安心なまちは大きなメリットでもある。</p> <p>しかし、安全安心だけではリタイアした高齢者の終の住処のまちになるだけである。</p> <p>若い世代が魅力を感じ定住したくなるまちとは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第一に持続性のある安定した労働環境が確保されること。 ●第二に家庭を持ち、子育てができる安心安全な環境であること。 ●第三に余暇を家族で楽しむことができる環境（娯楽施設、商業施設など）が整っていること。 <p>が大きなファクターといえる。</p>

労働環境として今後強く求められることは、地方であっても都市と同じ情報の享受と都市と変わらぬ質の高い労働条件環境である。

地方に居住していても、都市と同等又はそれ以上の労働が可能な環境設備として、

- 高度な通信機能を備えたリモート・テレワークセンター
- 学術・研究に特化した文教研究施設

等が考えられ、若い世代への魅力のある労働環境の提供となるはずである。

これらの大胆な構想によってまちが若返り、若い世代の定住人口の増加が見込まれ、地元への技術のフィードバック効果や新規事業などへの貢献も期待されるであろう。

人が物を造る時代は終わる。物造りの主体はロボットが担う時代は目前にある。人間は頭脳労働が中心となるはずである。

また、地方だからと卑下し諦めている場合ではない。東海、東南海巨大地震が目前に迫っている今、大都市から地方へと人口の移動が始まっている。世界的トップレベルの技術を持つ企業も巨大地震を想定し、安全性を考え本社機能を地方に移転しようとしているのです。

今が地方にとって千載一遇の大きなチャンスである。指を咥えて待っているだけでは時代の流れに乗り遅れるであろう。

地の利を生かした企業誘致を推し進めるプロジェクトチームを立ち上げるとともに、誘致に必要な下準備を怠り無く。大都市に社屋工場を構える企業が地方に雪崩のごとく押し寄せる可能性は否定できない。

そろそろ地方の時代がやって来ることに現実味を感じている。

追記

何も無いから何でもできるのである。

インパクトのある事をやらなければ、地方は消滅する。北のシリコンバレーと呼ばれるくらいの町にしようするくらいの意気込み（大風呂敷でもよい）を持って大花火をぶち上げて見るのも悪くなかろうと思う。単なる箱物は不用である。物を生み出す箱物の時代である。

回答**1 理想的な総合的将来像の構築について****市の考え方****《市の考え方》**

魅力ある労働環境の構築につきましては、若い世代のみならず、多様な働き手が安心して生き生きと働くことができるよう、環境整備を進めていくことが重要となります。

本市においては、ボールパーク構想をはじめ、JR北広島駅西口の土地利用など、民間事業者の知見を生かしたまちづくりを展開しており、これら事業においては、地域の活性化や賑わいの創出、定住人口や交流人口の拡大はもとより、経済効果や雇用効果を高め全市的に波及させていく取組を推進しているところであります。

また、本年4月からスタートする次期総合計画におきましても、地理的優位性を生かした企業誘致の展開、情報通信事業等の分野における新たな産業集積の推進を位置付けております。

若い世代の定住促進に向けては、雇用の場、雇用環境が重要な要素となること、ご意見を参考にまちづくりを進めてまいります。

意見	2 雇用と就業環境の充実について
提出のあった意見全文	<p>長く北広島で暮らしてきて、北広島は、雇用の場、特にパートタイムの仕事が少ないと感じています。</p> <p>例えば、市の会計年度任用職員をとってみても、ほとんどが、勤務時間は多少短いものの、週5日毎日出勤が必須です。</p> <p>原案にあるように、市内の雇用の場も拡大されていくであろう中で、「子育て中、介護中、持病がある、シニアである」等々、制約があり限られた働き方しか出来ない人々が取り残される事のないようにフルタイムで働く人も、そうでない人も、どちらにも対応出来るような多様な形態の働き方のサンプルを組み入れ、推進して行って頂きたいと願います。</p> <p>(例 週5日フルタイムの求人の場合。 パートタイム2~3人でまわす事も可能な業務ならば、どちらも受け付け可能にする等)</p> <p>そして最後に、条件から多少外れた少数の人々が、政策の編み目から、こぼれ落ちる事のないよう、臨機応変に柔軟な対応を願っております。</p>

回答	2 雇用と就業環境の充実について
市の考え方	<p>《市の考え方》</p> <p>雇用の場と就業環境の充実につきましては、引き続きワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組を推進するとともに、いただいたご意見を参考に多様な働き方を実現できるよう雇用の場の確保や就業促進などの取組を進めてまいります。</p>

意見	3 豊かな自然環境を生かした子育て施策について
提出のあった意見全文	<p>重点戦略 基本目標1「希望」～子どもを産み育てたいと思えるまちをつくる～ (p10～)について</p> <p>「北広島に住んでよかったことは、身近に豊かな自然があること」と答える人が多いと思います。そのような環境の中でのびのびと子育てできるような施策を打ち出して欲しいです。</p>

回答	3 豊かな自然環境を生かした子育て施策について
市の考え方	<p>《市の考え方》</p> <p>豊かな自然環境を生かしたまちづくりにつきましては、緑豊かな公園や住環境の整備など、子育てしやすいまちを目指し各種施策を実施しているところでありますが、子育て施策につきましては、いただいたご意見を参考に引き続き取組を進めてまいります。</p>